

令和元年 11 月市議会 環境経済委員会資料

第 208 号議案 公の施設の指定管理者の指定について
(稲佐山公園・長崎ロープウェイ)

	ページ
1 事業計画書	1～19
2 稲佐山公園の管理に関する業務の収支予算書 ..	20～24
3 長崎ロープウェイの管理に関する業務の収支予算書	25～29
4 稲佐山公園・長崎ロープウェイ 利用者数の見込み	30

中央総合事務所

文化観光部

令和元年 11 月



事業計画書

申請年月日 令和元年10月30日			
施設名	稲佐山公園・長崎ロープウェイ		
団体名	リージョナルクリエーション長崎・長崎ロープウェイ事業共同体		
代表者名	高田旭人		
所在地	長崎県長崎市大黒町10-10	電話番号	095-873-1480
E-mail	jn_contact@japanet.co.jp	FAX番号	03-6629-0101
現在運営している施設	所在地	主な業務内容	運営期間
主たる企業の運営施設			
なし			自 年月 至 年月
グループ応募を行う一般財団法人長崎ロープウェイ・水族館で運営している施設			
長崎ロープウェイ	①長崎市淵町8-1	長崎ロープウェイの管理および運営	自 平成10年4月
	②長崎市稲佐町364		至 令和2年3月予定
長崎ペンギン水族館	長崎市宿町3-16	長崎ペンギン水族館の管理および運営 (ペンギン及び魚類の飼育・展示)	自 平成13年4月
			至 令和2年3月予定
事業計画			
次ページ以降に記載。			

I 施設の設置目的と計画について

- 1 施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的等にてらし、指定管理者としての基本的な考え方について記載してください。

ジャパネットグループは、関わるすべての方の「今」を楽しくしたいと考えています。地域の魅力を広げ、感動と誇りあふれる「今」を届けること。関わるすべての方とジャパネットがつながったとき、その「今」が楽しいものであるように、ジャパネットグループは、それぞれの「今」に挑戦し続けます。

具体的には以下の4点を基本的な考え方としています。

① 自前主義

ジャパネットがやるからこそその価値を出し、スピードと品質に責任を持って対応できるように、自前主義の体制を取り、最高の形で稲佐山を楽しんでいただけるよう、サービスをお届けします。

② チャネルミックス

現地に加え、インターネットやスマホアプリ、自社BS番組、将来的には長崎スタジアムシティなど、さまざまなつながりの場所を通して、稲佐山の魅力を伝え、広げていけるように取り組んでまいります。オンラインとオフラインの双方のチャネル同士の相乗効果を発揮しながら、一人でも多くのお客様の身近な存在となり、多くのコミュニケーションを生み出すことを目指します。

③ 厳選集中

稲佐山の魅力・価値を地域一体となって磨き上げてご紹介します。

- A. 夜景以外の時間も長崎の美しい風景の魅力を訪れる皆様にお伝えいたします。
- B. 四季に応じた景色・自然や、まだ広く知られていない稲佐山の魅力を、より良く楽しんでいただける工夫を重ねて磨き、魅力が伝わる形でご紹介を行います。
- C. 世代ごとに異なる公園の利用ニーズを丁寧に掘り起こし、トイレや遊具なども含め、稲佐山の持つ最大限の魅力を、ポイントを絞り、具体的に伝えます。

④ 徹底したお客様想像力

長崎で生活されている方、長崎を訪れる方がどのようなシーンで稲佐山を活用いただけるかを徹底的に想像し、企画・改善を重ねてまいります。

長崎で生活されている方：世代ごとに異なる公園の利用シーンを想像し、利用される目的に沿った魅力の磨きこみとアピールを行います。

長崎を訪れる方：旅行に出発する前から展望台からの風景を楽しみにしていただき、展望台で心地よく景色を見ていただけるように工夫・改善を重ねてまいります。

上記に加え、一般財団法人長崎ロープウェイ・水族館の過去の経験も活かし、ロープウェイ、スロープカーについて、徹底的な安全運行を実現してまいります。

快適にご利用いただくだけでなく、期待を超えるサービスで感動していただきたい、という想いで、お客様にご利用いただくシーンを徹底的に想像して企画から改善へつなげ、関わるすべての方に感動を届けられるよう細部にまでこだわります。

2 1-1に記載した基本的な考え方に沿った成果とは何かを記載し、それをどうしたら得られるかを記載してください。

<基本目標>

① 稲佐山公園におけるイベント開催数の増加

-成果：イベント開催数の増加

-実現方法：グループ会社や他社との連携を通じ、長崎を象徴する場所でもある稲佐山の特性に合ったイベントを誘致

② 長崎ロープウェイ・稲佐山公園の利用者の増加

-成果：各施設利用者数の増加

-実現方法：

A. 稲佐山公園の施設利用者を世代別に徹底的に想像し、利用シーンに応じた魅力・施設活用方法をお届けする

B. 稲佐山展望台からの昼間の景色や夕暮れ時の空模様など、時間帯別の魅力を整理し、各時間帯に利用できる魅力をお客様に伝える

<業務品質の改善項目>

③ サービス品質の改善

-成果：チェックリスト遵守による業務品質の向上

-実現方法：各業務仕様に加え、独自のサービス品質向上のためのチェックリストを作成し、業務品質の標準化を図る

④ 業務効率の改善

-成果：各業務の標準時間の管理による作業効率改善

-実現方法：ロープウェイのチケット販売などのお客様対応業務から清掃などの業務まで、各業務の標準時間を設定し、日々計測し、作業効率を改善できる業務フローを設定

<体験価値の改善項目>

⑤ 満足度の改善

-成果：施設利用者の満足度数値化による満足度改善

-実現方法：グループ会社のコールセンター・店舗での運用と同様に、定期的に評価を行い数値化し、各施設の満足度の改善を実施

⑥ 稲佐山公園の社会的価値の向上

-成果：子育て世代からシニアまで幅広い世代が楽しめる場所の実現

-実現方法：多機能トイレやおむつ交換ゾーン、手すり付きの遊歩道などの利便施設、季節ごとの見どころの発信など、各世代のニーズに合った情報の提供

⑦ 長崎ロープウェイの観光地としての人気向上

-成果：観光客認知度の向上、満足度の向上

-実現方法：

A. 認知度の向上：ウェブページでの発信強化に加え、クルーズ船運業者や修学旅行業者、旅行代理店への展開強化

B. 満足度の向上：旅行者のニーズに合ったサービスの提供

3 1-1 に記載した基本的な考え方と、1-2 に記載した成果をもとにして、稲佐山活性化のコンセプトを提案してください。

事業コンセプト：「長崎を生きる」楽しさを！

長崎に住む方、訪れる方、すべての方がこれまで以上に、「長崎で生きることを楽しくしたい」がコンセプトです。長崎の美しい夜景、風景を楽しめる展望台、訪れた方々が自然に触れ合える緑豊かな稲佐山公園、稲佐山展望台と稲佐山公園への移動を楽しんでいただける長崎ロープウェイ、長崎稲佐山スロープカーを生かし、関わるすべての方々に楽しさと豊かさを提供したいと考えています。

以下、各施設におけるコンセプトです。

〈稲佐山展望台〉

- ・もっとたくさんの方に、長崎の美しい夜景と風景を！：
観光客の方々を魅了し、長崎の誇りである、素晴らしい夜景、稲佐山山頂からの美しい長崎市の風景を楽しんでいただけるよう、魅力の発信をいたします。
- ・快適に長時間楽しめる！：
快適に景色を楽しんでいただけるよう、季節や風雨などへの対策と管理を徹底します。施設全体により長時間滞在いただき、稲佐山での体験価値を高める工夫を行います。

〈稲佐山公園〉

- ・子育て世代からシニア世代まで、各世代が安心して楽しめる公園：
緑あふれる公園、市民のうるおいと憩いの場として、利便施設（トイレやバリアフリー施設など）の充実と丁寧な紹介や、トイレの清掃強化による清潔感の確保、看板の設置の改善などの工夫を重ね、稲佐山公園の安心感を高めてまいります。
- ・長崎一のイベント広場：
数々のイベントを開催してきた歴史と、大人数を収容できる設備を活かし、常に訪れた人がワクワクするようなイベントが行われている場とします。

〈長崎ロープウェイ〉

- ・頂上へのワクワク感、街へのワクワク感を伝える：
上りは頂上へのワクワク感、下りは街の魅力を伝え、移動中はもちろん降車後も楽しみになるような情報を提供します。
- ・観光客の方々も、長崎の方々も、もっと稲佐山展望台へ：
繁忙期の便数増加や利用者の少ない時間帯の料金割引など、より多くの方々に楽しんでいただける工夫を行います。

〈長崎稲佐山スロープカー〉

- ・稲佐山公園と展望台をつなぎ、それぞれの魅力を広げる：
稲佐山公園全体のつながりを意識し、移動手段としてだけでなく、終着点である稲佐山公園と展望台それぞれの魅力を高める役割としても活用していきます。

II サービスの向上

- 1 施設の利用者を増加させるための提案を具体的にここに記載し、その効果を反映させたいうえで、様式 12「稲佐山公園・長崎ロープウェイ 利用者数の見込み」を記載してください。

① イベントの誘致・企画の強化

・実施内容

従来から行ってきたステージで行う音楽イベントの誘致を強化することに加え、自主興行によるフェスの開催なども計画いたします。グループ会社の BS 放送も含めたメディアとも連携し、より多くの方にお届けできる音楽イベントを目指してまいります。

また、プロスポーツチームのファンイベント、企業の展示イベントや各種テーマ性のあるイベントなど、さまざまなイベントの企画・誘致によりにぎわいと施設への来場のきっかけづくりを進めてまいります。

尚、上記実現のためにも出展料や協賛料、イベントの売上高によるイベント費用の捻出などについても長崎市と協議させていただきたく存じます。

・上記施策による効果

初年度より隔年度毎（令和 2 年度、4 年度、6 年度）に 3,000 人規模のイベントを追加実施します。その他、毎年来場者数の成長率 3%を目指します。

② ウェブサイトを中心とした情報発信の強化

・実施内容

・ウェブサイトの強化：必要な情報をまとめ、稲佐山に興味をお持ちいただいた方が稲佐山に来たくなる情報を提供します。

・SNS キャンペーンの実施：「#長崎の夜景」、「#稲佐山夜景」など、利用者様に稲佐山の魅力を広めていただく形での SNS キャンペーンを実施します。

・上記施策による効果

全体のお客様数が 2%改善されることを見込みます。

③ 設置管理許可制度を用いた企業誘致（カフェ・レストランなどの設置）

・実施内容

設置管理許可制度を利用し、カフェやレストランなどを設置します。既存利用者の利便性向上に加え、新施設の設置についてのメディア向けの発信や、目的性の高い施設の設置による集客効果により、施設全体の利用者数増加を目指します。

・上記施策による効果

公園内に設置するレストランの利用者数が年間 2 万人増加、うち 2 千人のロープウェイ利用を見込んでおります。

④ 駐車場の増加

・実施内容

ピーク時は利用者で溢れる淵神社駅の駐車場増加を検討し、利用者数の増加を図ります。

・上記施策による効果

休日やピーク日数（年間 100 日程度）の利用者が 50 名伸びることを想定し、年間 5,000 人の増加を見込みます。

2. 施設の利用者の利便性を高めるための提案を記載してください。

① ウェブサイトの改善

- ・利用者や利用シーンを想像し、稲佐山公園、稲佐山展望台及び長崎ロープウェイに関する基本情報を一元的に提供

長崎ロープウェイ、稲佐山公園のウェブサイトの一元化により、利用者の方が一カ所でまとめて必要な情報を取得できるようになり、利便性が向上します。

- ・多言語に対応

基本情報は多言語で提供することで、日本語以外で情報収集される利用者の方の利便性も向上します。

② 看板・サイン類の改善

- ・公園内の地図の掲出強化

広大な敷地にさまざまな施設が散りばめられている公園の魅力を正しく伝えるため、公園内に公園全体図を増やすことで、利用者の皆様に各施設の配置をお知らせし、施設間の回遊を増加させます。

- ・公園から展望台、展望台から公園への送客を行う仕組みの強化

公園にて展望台の魅力を伝え、展望台にて公園の魅力を伝えることで、相互の送客を実現し、利用者拡大を目指します。

- ・多言語対応

現在、手書きや印刷物で補助的に掲示している情報を含め、基本的な表示内容を見直し、多言語化を行うことで、利便性を高め、利用者・運営者の双方に過度な負担がかからない効率的な運営を実現することが可能と考えます。

③ 利便性設備の改善

以下の施設の充実、設置位置の発信強化により、より多くの方に安心して来場いただけるようにします。

- ・淵神社の駐車場から駅までの区間の案内・照明
- ・おむつ交換室、授乳室などの子育て施設
- ・多機能トイレなどの安心施設
- ・ゴミ箱、手洗い場などの基本設備

④ 営業時間の拡大

ゴールデンウィークや夏休み期間などのピークシーズンについてはロープウェイの時間を延長し、利用者様の実態に合わせた運行を検討いたします。近隣住民の方々へも配慮しながら、利用時間を延ばすことも検討し、食事後や仕事後などの展望台利用を可能とし、利用者を拡大します。

⑤ 長崎稲佐山スロープカー

図面や設備仕様が公開されていないため、A. お客様の安全性、B. 従業員の安全性、C. 設備の保全性、D. 利用者の利便性などについては、設備仕様の公開後、設備の運用管理者として具体的な提案を行ってまいります。

Ⅲ 魅力向上事業

1 募集要項3ページ及び別紙1を参照とし、I-3で記載した稲佐山活性化のコンセプトにてらして、既存施設である展望台、野外ステージ、鉢巻山等を活用する事業を、指定管理者の経費で実施できる範囲で提案して下さい。

〈稲佐山展望台の魅力向上事業〉

展望台は世界的な夜景スポットとして、既に多数の方々にご利用いただいているため、A.閑散期・夜間以外の需要開拓、B.満足度向上策によるリピーターの増加・SNSキャンペーンによる口コミの拡散による利用者増加 C.稲佐山展望台のイベント数増加を図ります。

A. 閑散期・夜間以外の需要開拓策

- ・魅力発信の充実：夜景のみならず、稲佐山からの景色を楽しんでいただくため、各季節・時間帯別の魅力を発信します。修学旅行客、クルーズ客など夜間帯に来場が難しい時間的制約がある方に興味を持っていただけるよう五島列島の島々、市内の歴史的建造物、遠くに見える山々など稲佐山ならではのバリエーションに富んだ日中に楽しめる長崎の景色の魅力の訴求を行います。
- ・飲食物の提供：爽やかな風景を見ながらの朝食、夕暮れ時のカクテルの提供、夏季にはミルクセーキなどの涼感のある飲食物の提供、冬季には温かいコーヒーやホットワインの提供など、景色の魅力を最大限楽しんでいただける工夫を行ってまいります。（尚、上記はアイデアであり、アルコール類の提供を前提とする提案ではございません。）

B. 満足度向上策によるリピーターの増加・口コミの拡散による利用者増加策

- ・景色をもっと楽しんでもらうための情報提供：市民ボランティアの方々や、長崎市内のさまざまな施設、専門家の力を集め、景色の解説や、街の歴史、星空の説明など、景色をより楽しんでいただくための情報を提供します。
- ・SNSキャンペーンの実施：「#長崎の夜景」、「#稲佐山夜景」など、利用者様に稲佐山の魅力を広めていただく形での口コミの拡散を目的としたSNSキャンペーンを実施します。
- ・雨天時の展望台頂上での傘レンタルサービスの実施：雨天時にも関わらずご来場いただけた方や急な雨への対応・サービスとして傘をご用意いたします。

C. 稲佐山展望台のイベント数増加

- ・ランタンフェスティバルなど、市内イベントとの連動：市内のイベントと連動を図ることで稲佐山にくるきっかけ、機会を増やします。
- ・歴史的観点からのイベントの実施：専門家、体験者による長崎市への原子爆弾投下当時の様子のお話などが聞けるイベントを開催し、現在の景色がその場で見える環境でその後の長崎の復興、発展の様子がその場で認識できる機会を提供します。
- ・夜間イベントの実施：展望台を会場とした通常営業時間終了後の夜間帯のイベントを実施します。
- ・季節のイベント強化：季節性のあるイベントを行い、観光客の皆様に来るきっかけ

けをつくり、地域の皆様の再訪問のきっかけづくりを行います。

- ・クリスマスイルミネーションの期間拡大：期間延長を行いより多くのご来場者に期間限定のイルミネーションを楽しんでいただける機会を増やします。
- ・ハロウィンイベントの開催：10月をハロウィン期間として展開を行いつつ、夜景をバックにコスプレで撮影ができるイベント展開を行います。

<野外ステージ・ステージ前芝生広場でのイベント数増加>

従来開催されているイベントに加えて A. イベント招致の強化や B. 自主興行のイベントの実施を行うことで開催イベント数の増加を図ります。

A. イベント招致の強化

- ・音楽フェスやコンサート開催の誘致強化：県内外のイベント主催者、プロモーターへの積極的なイベント開催の啓蒙活動を行います。
- ・野外ステージ利用イベントの誘致：ダンス大会・3人制バスケットボールの大会などのスポーツイベントやプロサッカーチームのファンイベント、ヨガイベントなどの参加型イベントの誘致も行います。
- ・ブース出店型イベントの誘致：フードフェスやアースデイなどのイベントなど、さまざまなテーマのイベントなど来場者が無料で参加できるイベントの誘致も行い、より多くの方々に野外ステージ及び広場、公園全体を活用いただけるよう、工夫を行います。

B. 自主興行イベントの実施

- ・自主興行の実施：長崎の魅力にあふれたコンテンツを伴い、市民、県内外のさまざまな方が参加できる、新たな長崎の魅力になるような音楽イベントを創出いたします。
- ・一般公開イベントの実施（参加無料）：長崎の魅力を伝えるため、グループ会社と協働し、プロサッカーチームやBS放送の公開収録、長崎スタジアムシティプロジェクト関係のイベントなど、新たなイベントによりにぎわいと楽しみを創出いたします。

<鉢巻山の魅力向上事業>

鉢巻山の基本情報の配信をすることで魅力の訴求強化を行い、イベントを実施し鉢巻山の魅力に付加価値を加えます。

- ・楽しみ方の提案：鉢巻山については基本的な魅力を知る人が少ないことから、外海の風景が楽しめるデートスポットとしての開拓、頂上への階段の段数・歩数の目安を示しての健康増進ゾーンとしての発信、スタンプラリーの開催など、楽しみ方の提案を行ってまいります。
- ・海が見える展望台として売り出す：「鉢巻山」は大村市にもあり、検索に引っかかりにくいいため、「海が見える展望台」としてアピールします。
- ・景観を生かしたイベントの開催：ヨガ教室など、美しい景観を生かしたイベントの開催を検討します。

2 新たな施設である長崎稲佐山スロープカーや設置管理許可制度を活用した事業を、指定管理者の経費で実施できる範囲で提案してください。

<長崎稲佐山スロープカー>

長崎稲佐山スロープカーについては、利用人数の見込み、設備仕様が発表されていないため、実際の仕様が判明次第、売上高及び利益の状況について見極めた上で、観光客の方々、長崎の方々の双方に対する利便性向上、集客企画を実施し、持続可能な形での利用者数増加、満足度向上を図ってまいります。

- ・繁忙期における稲佐山展望台利用者需要への対応

需要予測に基づき、山頂駐車場、淵神社駐車場の満車、長崎ロープウェイの満員時にスムーズに中腹駐車場に誘導することで、より多くの皆様に稲佐山の夜景をお楽しみいただきます。

- ・稲佐山公園を利用される方々への稲佐山展望台利用需要の喚起

稲佐山公園を利用される方々、長崎稲佐山スロープカーの新規性に興味を持つ方々に対し、稲佐山展望台からの景色の魅力を伝え、より多くの方々に長崎の風景を伝えます。

- ・スロープカーへの興味への対応

デザインに込められた想いや、建設工事の苦労、稼働の仕組みなど、新規性の高いスロープカーへの興味・関心にこたえるコンテンツを準備し、満足度向上を図ります。また、安全性を確保できるようであれば、対象を絞り、保守点検を体験できるツアーの開発など、唯一無二の体験ができる機会提供を検討します。

<今後設置管理許可を活用した事業の可能性を追求すべき事業>

A. 飲食の充実

- ・キッチンカーの設置

キッチンカーなどを活用し、稲佐山公園、展望台の利用者の方々に対する食事、飲料などの提供を検討します。同時にお客様の利用シーンを広げる、適切なメニューを検討し、提案します。

- ・レストラン・カフェなどの設置検討

利用者の方々の利便性を向上するため、景色や自然を生かしたレストラン・カフェなどの設置を検討します。

B. スポーツ施設・アクティビティ施設導入の検討

- ・スポーツ施設の検討

キャンプサイト、フットサルコート、ボルダリング設備、自転車コース・ランニングコース、トレイルランコース、ノルディックウォーキングコース、更衣室・シャワールームの設置など、利用可能性を検証の上、運動施設の設置を検討いたします。

- ・アクティビティ施設の検討

斜面を生かしたセグウェイ体験、競技ドローンの練習コース設置など、広大な空間を生かしたアクティビティの開発を検討します。

C. 先進技術の導入による効率化

- ・ 多国語に対応した AI ロボットを活用したチャット機能での自動案内

施設に関してチャット機能で質問を行うと、自動返信により案内が行われる仕組みの導入。(各国の国際スポーツ大会などで導入事例多数あり、東京オリンピックなどでも採用される見込み)

- ・ VR を活用した平和教育コンテンツの提供

原爆投下前、原爆投下後の展望台からの風景を VR で再現し、携帯アプリにて提供。(南島原の原城などでも使用されている類似技術の活用を検討)

- ・ ダイナミックプライシングの試験運用

時間帯、季節により需要量が異なる長崎ロープウェイ、長崎稲佐山スロープカーについて、ダイナミックプライシングの仕組みを導入し、利用者数の最大化、満足度の向上に努めます。(各国のプロスポーツなどで導入事例多数。)

D. 長崎ロープウェイの延伸に関する協力

- ・ ロープウェイの延伸について、繁忙期に淵神社駅の駐車場が満車になっている現状や市内からのアクセスが課題であるという市民のお声も踏まえ、本事業期間中の延伸にも、最大限の協力を行います。

尚、指定管理者として選定された場合、上記の財源については施設利用料の変動納付金のあり方も含め、議論させていただきたく存じます。

2 管理許可施設である、光のレストランとアゼリアとの連携について提案してください。

光のレストラン及びアゼリアの運営事業者様とは積極的なコミュニケーションを図り、稲佐山の利用者のニーズを踏まえ、都度最善の改善策を見出します。以下は現時点における弊社の最善の提案ではありますが、光のレストラン、アゼリアの運営事業者様と協働し稲佐山の魅力を最大化する方策を見出してまいります。

<光のレストラン>

・展望台での軽食販売などに関する協業

展望台利用者の快適性、満足度向上を目指し、軽食や飲料などの販売可能性を検討いたします。衛生面、法制面など、種々の課題に関して対応を行った上で、飲食面からの満足度向上策を検討いたします。

・新たな時間帯の需要開拓

「長崎を一望、稲佐山で朝食を」「インスタ映えランチ」「サンセットカクテルパーティー」など、時間帯別にさまざまな企画を行い、新たな需要を開拓することを支援いたします。

・メニュー、サービスの開発支援

観光客の方を中心とした来場者様のニーズを把握し、適切なメニュー・サービスの提供を支援いたします。また、多言語化などについても協働します。

・キャッシュレスの導入、予約システム改善支援

利用者の多い電子通貨に対応したキャッシュレスシステムの導入や、多言語に対応した予約システムの導入などを支援します

・営業時間の改善

需要予測を提供し、繁忙期の営業時間延長などによる売上高・利益の改善に資する提案を行います。

・イベントの開催

光のレストランを含む展望台全体を活用したイベントを企画提案させていただきます。

<アゼリア>

・混雑予測情報の提供

イベントや団体の来場状況なども踏まえ、販売員様の適切な配置の支援を目的とし、混雑状況の予測を提供します。

・販売商品ラインナップの改善支援

子育て世代からシニア世代まで、各世代の需要を把握し、これまで以上に公園を楽しんでいただくために必要な販売商品のラインナップの提案を行います。

・キャッシュレスの導入支援

利用者の多い電子通貨に対応したキャッシュレスシステムの導入を支援いたします。

IV 評価と改善

施設の管理・運営を行うにあたり、評価・改善をどのように行っていくか具体的な体制の方法を記載してください。

施設運営については日時にて業務運営の状況の確認、月次にて半期ごとに設定したKPI及び重点改善項目の取り組み進捗確認、半期ごとに事業状況の評価及び改善策の策定を行います。日常の業務改善に加え、より長期間にて取り組む大きな業務改善についても従業員一丸となり、対応を行う体制を整えます。

<日常業務の評価と改善>

本業同様、サービス品質を高い水準に設定し、安全性も確保することを前提とし、お客様満足度の向上、業務の効率化を実現すべく、日々の業務を改善してまいります。

- ・チェックリストによるオペレーションの評価
- ・日常業務の業務フローを設定し業務品質を標準化
- ・単位業務当たりの時間計測による効率化
- ・利用者の方々のお声を直ちに業務改善に反映する仕組み化

<月次の業務状況の確認>

月次にて基本的なKPIの確認、半期ごとに設定した大きな業務課題に対する取り組みの進捗状況を確認します。進捗確認と同時に次月までの動きを決め、課題が放置されない環境をつくります。

<事業評価委員会の開催による事業の抜本的な評価・改善>

半期（約6か月に1回）で、日常的に業務に携わらないメンバーを中心とした事業評価委員会を開催し、チェックリストに基づく定量的な事業評価、現地視察による利用状況の把握、利用者の方々からの改善提案の評価を行い、各世代の利用者様のニーズや対応方針の確認、情報発信の方針の見直し、新設備の導入検討、提供するサービスの抜本的見直しなども含めた、本質的な業務改善を進めてまいります。

V 基本方針

当該施設の管理運營業務について、施設の設置目的等に合う形で、基本方針あるいは理念を記載してください。

〈基本方針〉

「緑あふれる公園」「市民のうるおいと憩いの場」「素晴らしい夜景を楽しむ場」という施設の設置目的を踏まえ、市民に誇りを感じてもらい、観光客の方々に長崎の豊かさを知ってもらう場として、美しい稲佐山の風景、豊かな自然、公園をより楽しんでいただけるように、細やかなサービスを見直し、その最大限の魅力を伝えてまいります。

また、ロープウェイ、スロープカーについては多数のお客様にご利用いただく施設であるため、安全を最優先し、運行いたします。

〈株式会社リージョナルクリエイション長崎のミッション〉

長崎の魅力・価値を地域一体となって磨き上げ、
長崎に住む方、長崎を訪れる方に感動と誇りあふれる「今」を届ける

感動とビジネスが両立した民間主導の地域創生モデルを確立し、
平和のメッセージを長崎から世界に広げる

VI 平等利用の確保

施設の利用に関し、公平性を確保する考え方と方策を記載してください。

<公平性を確保する考え方>

施設の利用について、特定の個人・法人・団体等に有利又は不利となる取り扱いを行わないように平等・公平な取扱いを行います。

施設の利用料金・減免の要件、予約の開始時期などについては基準を明確に公に示し、判断の根拠も明確化いたします。

また、年齢、性別、国籍などの区別なく誰もが安心かつ安全で快適な施設利用ができるように最大限の配慮を行います。

<公平性を確保する方策>

従業員に対しては、平等性・公平性について基本的な教育を行うとともに、施設料金の減免や予約対応についてはマニュアルを作成するとともに、決定について複数人での確認を必要とする方式を取るなど、個人の判断に依存しない体制を整えます。

Ⅶ 個人情報の保護

施設の利用者の個人情報に関し、漏洩や滅失等の防止策、適切な情報管理のための具体的な方策及び体制について記載してください。(マニュアル等作成している場合は添付してください)

長崎市個人情報保護条例、長崎市個人情報保護条例施行規則に準じて、施設の利用者様の個人情報を厳重に管理いたします。

施設利用者の個人情報の管理及び体制については、下記の通りとなります。

1. 個人情報の管理体制について

弊社ではジャパネットグループ全体での ISMS フレームワーク (IS027001) に準拠した「情報セキュリティ基本方針」に則り、個人情報保護基本規程を定め、個人情報保護の最終責任をジャパネットホールディングス代表取締役社長が負い、その下に運用面では情報セキュリティ委員会及び情報セキュリティ委員長を、システム面では情報システム統括責任者及び情報システム管理者を配置し、個人情報保護に関わる全社的な判断、推進活動、個人情報の保護に関わる運用を推進しています。(ISMS 認定書及び体制図は別紙参照)

2. 漏洩や滅失等の防止策

当社では、ISMS フレームワークに準拠した「情報資産に関する規程」を定め、「情報資産取扱手順書」に則り、個人情報を取扱うことを徹底し、漏洩や滅失を防いでいます。また個人情報を含めた当社の情報資産の取扱いについては、半年に 1 度行われる内部監査、及び 3 年に 1 度行われる第三者認証機関での外部監査を受け、上記規定及び手順書に遵守した運用となっているか確認をしています。

グループ全体での取り組みをベースに、リージョナルクリエイション長崎内でも共有を図り管理を徹底します。

VII 人員配置

1 稲佐山公園（スロープカーを含む）、長崎ロープウェイの施設管理運営を適切に行うための人員配置について、施設長、正規職員、臨時職員等が曜日、時間帯ごとに配置状況がわかるシフト表を添付してください。

別紙「稲佐山公園・長崎ロープウェイ勤務シフト基本案（別紙①-1、①-2）」に記載の通り、稲佐山公園、長崎ロープウェイの施設管理運営を適切に行うための人員を配置いたします。

なお、業務仕様を守ることができる範囲において、基本シフトは添付の通りとしつつ、イベントや天候、季節の観光客数の推移に沿って、配置は柔軟に変更いたします。

2 施設の維持・安全管理が行える指揮系統がわかる組織図を添付してください。また、グループ応募の場合、業務におけるグループの責任体制等を明確に記載してください。併せて職員研修等の内容及び実施回数を具体的に記載してください。

施設の維持・安全管理が行える指揮系統がわかる組織図：

別紙「稲佐山公園・長崎ロープウェイ 組織図（別紙②-1、②-2、②-3）」をご参照ください。

職員研修：

別紙「稲佐山公園・長崎ロープウェイ 研修計画（別紙③）」をご参照ください。

索道事業についてはこれまでの運営経験に基づき、施設の安全性を確保することを念頭に研修を設定しております。

なお、長崎稲佐山スロープカーについては、詳細な業務仕様が判明後、安全を最優先に事業を実施できるために必要な研修を追加設定することを検討いたします。

Ⅸ 収支計画・施設管理

様式 12「稲佐山公園・長崎ロープウェイ 利用者数の見込み」と減免状況を考慮して、様式 4-1「稲佐山公園の管理に関する業務の収支予算書」、様式 4-2「長崎ロープウェイの管理に関する業務の収支予算書」を作成した考え方を記載してください。

全体の考え方：

稲佐山の魅力向上・利用者の増加・利便性向上を第一にさまざまな工夫を行ったうえで、日々コスト削減の努力を行ってまいります。

稲佐山公園・スロープカー：

稲佐山公園については、既存の費用に加え、長崎稲佐山スロープカーの売上高・費用を追加計上しております。現状、稼働にかかる費用を算出するための根拠数値など（稼働の電気使用量、保守メンテナンスや主要な故障対応への費用など）が公開されていないため、費用算出の根拠が判明次第、改善収支案を作成いたします。

- ・委託料：64,460 千円と設定
- ・スロープカー平均単価：減免状況を勘案した単価を 427 円と設定。
- ・支出の部：

全体費用は物価連動で年間 1% ずつ増加の見込み

スロープカー運営人件費、事業費はスロープカー利用料収入の範囲内で賄えるものとして算出

長崎ロープウェイ：

長崎ロープウェイについては既存事業者の算出した費用をベースにしております。情報発信については、前年度まで別組織であった稲佐山公園、あらたな運営体であるジャパネットグループの各社とも連携の上、効率化を図ってまいります。

- ・売上単価：減免状況を勘案した単価を 992 円と設定。
- ・支出の部：

人件費は年間 2% 増加の見込み

その他全体の費用は物価連動で年間 1% ずつ増加の見込み

固定納付金 58,600 千円、変動納付金は要項通りに計算

X 緊急時の対応

防犯、防災及び台風、地震などの災害時や緊急時の対応手順、対応策、連絡体制、人員配置、責任の所在等について具体的に記載してください。また、事故防止のための対応マニュアルの整備予定、研修（訓練）の実施計画についても記載してください。

防犯、防災及び台風、地震などの災害については、リージョナルクリエーション長崎・長崎ロープウェイ事業共同体が責任を持って対応するとともに、長崎市、警察、消防、その他関連機関との連携が不可欠と考えております。以下の案を基本とし、関係各所との協議を進め、利用者の方々が安心して施設をご利用いただける対応手順、対応策、連絡体制を整えてまいります。

長崎ロープウェイについて

事件や事故、自然災害などが発生した場合や発生する恐れがある場合には、現場責任者を通じて長崎市所管課へ連絡するとともに、警察、消防、その他の関係機関に連絡し、その指示を受けあるいは連携して未然防止及び拡大防止に努めます。対応手順、対応策、連絡体制、人員配置、責任の所在等については別紙「緊急事態発生時における対応手順書（RW）第6版案（別紙⑥）」をご参照ください。（既存の「緊急事態発生時における対応手順書（RW）第5版（別紙⑤）」（別紙）を基本とし、組織体制の変更に伴い、対応手順書を作成中ですが、関係各所との連携が必須と考えており、応募時点では合意ができていないため、参考として添付いたします。）研修（訓練）の実施計画については別紙の「稲佐山公園・長崎ロープウェイ 研修計画（別紙③）」をご参照ください。

稲佐山公園・スロープカーについて

事件や事故、自然災害などが発生した場合や発生する恐れがある場合には、現場責任者を通じて長崎市所管課へ連絡するとともに、警察、消防、その他の関係機関に連絡し、その指示を受けあるいは連携して未然防止及び拡大防止に努めます。対応手順、対応策、連絡体制、人員配置、責任の所在等については別紙の「緊急事態発生時における対応手順書（稲佐山）（別紙④）」をご参照ください。研修（訓練）の実施計画については別途添付の「稲佐山公園・長崎ロープウェイ 研修計画（別紙③）」をご参照ください。事故防止のための対応マニュアルなどについては公園全体の現場調査を実施し、運営開始前に整備し初期講習を行います。

なお、スロープカーについては仕様が未公開のため、詳細仕様が発表された後に、適切な防犯・防災体制について関係各所との協議を行ってまいります。

※欄が不足する場合は、ページを追加して結構です。また、別紙による提出も可。ただし、事業計画書は、募集要項「13 審査及び選考の基準」の評価項目と連動して記載するようになっておりますので、中項目ごとに記載する量の上限をA4の1枚（MSゴシック、12ポイント1400字）までとします。

なお、魅力向上事業の提案は、事業区分ごとに2枚2800字までとします。

稲佐山公園の管理に関する業務の収支予算書

収入の部 令和2年度 (単位:円)

		内訳	合計金額 (税込み)	備考
収入合計(A)			150,259,000	
①指定管理にかかる委託料		指定管理料収入	64,460,000	
②利用料金収入			85,799,000	
内訳	施設利用に係る収入		85,279,000	スロープカーの利用料金を平均427円で計算
	附属設備利用に係る収入		520,000	

支出の部

		内訳	合計金額 (税込み)	備考
項目	人件費 ア	給与手当(社員3名)	14,950,000	
		臨時雇賃金(アルバイト賃金)	7,000,000	
		法定福利費	2,090,000	
		福利厚生費	1,045,000	
		スロープカー運営人件費	41,678,450	
事務費 イ	事務機器賃借料	350,000		
	通信運搬費	180,000		
事業費 ウ	スロープカー運営事業費	22,889,700		
	マーケティング費	3,000,000		
管理費 エ	業務委託費	30,000,000		
	水光熱費	14,000,000		
	消耗品費	1,000,000		
	飼料費	3,800,000		
	その他	270,000		
その他 オ	一般管理費	2,100,000		
	租税公課(消費税相当額)	930,000		
	車両費	780,000		
	管理事務所機械警備費	90,000		
施設修繕費 カ		3,491,600	市の負担です。 変更しないでください。	
支出合計(B)(ア~カ合計)			149,644,750	
収支(A)-(B)			614,250	

※ 1年間(12ヶ月)の収支を年度ごとに記入してください。

稲佐山公園の管理に関する業務の収支予算書

収入の部 令和3年度 (単位:円)

		内訳	合計金額 (税込み)	備考
収入合計(A)			144,590,575	
①	指定管理にかかる委託料	指定管理料収入	64,460,000	
②	利用料金収入		80,130,575	
内 訳	施設利用に係る収入		79,610,575	スロープカーの利用料金を 平均427円で計算
	附属設備利用に係る収入		520,000	

支出の部

		内訳	合計金額 (税込み)	備考
項目	人件費 ア	給与手当(社員3名)	15,099,500	
		臨時雇賃金(アルバイト賃金)	7,070,000	
		法定福利費	2,110,900	
		福利厚生費	1,055,450	
		スロープカー運営人件費	37,859,711	
事務費 イ	事務機器賃借料	350,000		
	通信運搬費	180,000		
事業費 ウ	スロープカー運営事業費	21,189,173		
	マーケティング費	2,000,000		
管理費 エ	業務委託費	30,300,000		
	水光熱費	14,140,000		
	消耗品費	1,010,000		
	飼料費	3,838,000		
	その他	272,700		
その他 オ	一般管理費	2,121,000		
	租税公課(消費税相当額)	939,300		
	車両費	787,800		
	管理事務所機械警備費	90,900		
施設修繕費 カ		3,491,600	市の負担です。 変更しないでください。	
支出合計(B)(ア~カ合計)			143,906,034	
収支(A)-(B)			684,541	

※ 1年間(12ヶ月)の収支を年度ごとに記入してください。

稲佐山公園の管理に関する業務の収支予算書

収入の部		令和4年度	(単位:円)
	内訳	合計金額 (税込み)	備考
収入合計(A)		139,142,150	
①	指定管理にかかる委託料 指定管理料収入	64,460,000	
②	利用料金収入	74,682,150	
内 訳	施設利用に係る収入	74,142,150	スロープカーの利用料金を 平均427円で計算
	附属設備利用に係る収入	540,000	

支出の部

	内訳	合計金額 (税込み)	備考
項目	人件費 ア 給与手当(社員3名) 臨時雇賃金(アルバイト賃金) 法定福利費 福利厚生費 スロープカー運営人件費	15,250,495 7,140,700 2,132,009 1,066,005 34,260,340	
	事務費 イ 事務機器賃借料 通信運搬費	350,000 180,000	
	事業費 ウ スロープカー運営事業費 マーケティング費	19,554,645 1,500,000	
	管理費 エ 業務委託費 水光熱費 消耗品費 飼料費 その他	30,603,000 14,281,400 1,020,100 3,876,380 275,427	
	その他 オ 一般管理費 租税公課(消費税相当額) 車両費 管理事務所機械警備費	2,142,210 948,693 795,678 91,809	
施設修繕費 カ		3,491,600	市の負担です。 変更しないでください。
支出合計(B)(ア~カ合計)		138,960,491	
収支(A)-(B)		181,659	

※ 1年間(12ヶ月)の収支を年度ごとに記入してください。

稲佐山公園の管理に関する業務の収支予算書

収入の部 令和5年度 (単位:円)

		内訳	合計金額 (税込み)	備考
収入合計(A)			139,142,150	
①指定管理にかかる委託料		指定管理料収入	64,460,000	
②利用料金収入			74,682,150	
内 訳	施設利用に係る収入		74,142,150	スロープカーの利用料金を 平均427円で計算
	附属設備利用に係る収入		540,000	

支出の部

		内訳	合計金額 (税込み)	備考
項 目	人件費 ア	給与手当(社員3名)	15,403,000	
		臨時雇賃金(アルバイト賃金)	7,212,107	
		法定福利費	2,153,329	
		福利厚生費	1,076,665	
		スロープカー運営人件費	33,613,918	
事務費 イ	事務機器賃借料	350,000		
	通信運搬費	180,000		
事業費 ウ	スロープカー運営事業費	19,554,645		
	マーケティング費	1,000,000		
管理費 エ	業務委託費	30,909,030		
	水光熱費	14,424,214		
	消耗品費	1,030,301		
	飼料費	3,915,144		
	その他	278,181		
その他 オ	一般管理費	2,166,203		
	租税公課(消費税相当額)	959,318		
	車両費	804,590		
	管理事務所機械警備費	92,837		
施設修繕費 カ			3,491,600	市の負担です。 変更しないでください。
支出合計(B) (ア~カ合計)			138,615,082	
収支(A)-(B)			527,068	

※ 1年間(12ヶ月)の収支を年度ごとに記入してください。

稲佐山公園の管理に関する業務の収支予算書

収入の部 令和6年度 (単位:円)

		内訳	合計金額 (税込み)	備考
収入合計(A)			139,362,150	
①	指定管理にかかる委託料	指定管理料収入	64,460,000	
②	利用料金収入		74,902,150	
内 訳	施設利用に係る収入		74,342,150	スロープカーの利用料金を 平均427円で計算
	附属設備利用に係る収入		560,000	

支出の部

		内訳	合計金額 (税込み)	備考
項目	人件費 ア	給与手当(社員3名)	15,557,030	
		臨時雇賃金(アルバイト賃金)	7,284,228	
		法定福利費	2,174,862	
		福利厚生費	1,087,431	
		スロープカー運営人件費	33,069,497	
事務費 イ	事務機器賃借料	350,000		
	通信運搬費	180,000		
事業費 ウ	スロープカー運営事業費	19,620,645		
	マーケティング費	1,000,000		
管理費 エ	業務委託費	31,218,120		
	水光熱費	14,568,456		
	消耗品費	1,040,604		
	飼料費	3,954,295		
	その他	280,963		
その他 オ	一般管理費	2,187,865		
	租税公課(消費税相当額)	968,912		
	車両費	812,635		
	管理事務所機械警備費	93,766		
施設修繕費 カ		3,491,600	市の負担です。 変更しないでください。	
支出合計(B) (ア~カ合計)			138,940,909	
収支(A)-(B)			421,241	

※ 1年間(12ヶ月)の収支を年度ごとに記入してください。

長崎ロープウェイの管理に関する業務の収支予算書

収入の部 令和2年度 (単位:円)

	内訳	金額 (税込み)	備考
利用料金収入(A)	ロープウェイ利用料金収入	189,099,544	

支出の部

	内訳	金額 (税込み)	備考
人件費 ア	給与手当	55,172,000	
	臨時雇賃金(アルバイト賃金)	16,573,000	
	法定福利費	9,090,000	
	福利厚生費	545,000	
	退職給付引当費	3,000,000	
事務費 イ	通信運搬費	774,000	
	保険料	165,000	
	賃借料	3,813,000	
	諸謝金	281,000	
	負担金	106,000	
	観光券手数料	3,280,000	
	支払納付金	64,201,844	固定納付金58,600千円を含む・変動納付金
事業費 ウ	旅費交通費	458,000	
	消耗品費	2,180,000	
	消耗工具備品費	1,662,000	
	印刷製本費	1,564,000	
	広告渉外費	1,116,000	
	雑費	877,000	
管理費 エ	委託料	8,255,000	
	光熱水料費	4,321,000	
	燃料費	423,000	
その他 オ	租税公課(消費税相当額)	8,438,000	事業所税等は含まない
施設修繕費 カ		1,000,000	市の負担です。 変更しないでください。
支出合計(B) (ア~カ合計)		187,294,844	
収支(A)-(B)		1,804,700	

※ 1年間(12ヶ月)の収支を年度ごとに記入してください。

長崎ロープウェイの管理に関する業務の収支予算書

収入の部 令和3年度 (単位:円)

	内訳	金額 (税込み)	備考
利用料金収入(A)	ロープウェイ利用料金収入	190,879,065	

支出の部

	内訳	金額 (税込み)	備考	
項目	人件費 ア	給与手当 臨時雇賃金(アルバイト賃金) 法定福利費 福利厚生費 退職給付引当費	56,276,000 16,905,000 9,272,000 556,000 3,060,000	
	事務費 イ	通信運搬費 保険料 賃借料 諸謝金 負担金 観光券手数料 支払納付金	774,000 165,000 3,813,000 281,000 106,000 3,280,000 65,002,629	固定納付金58,600千円を含む・奨励納付金
	事業費 ウ	旅費交通費 消耗品費 消耗工具備品費 印刷製本費 広告渉外費 雑費	463,000 2,202,000 1,679,000 1,580,000 1,128,000 886,000	
	管理費 エ	委託料 光熱水料費 燃料費	8,338,000 4,365,000 428,000	
	その他 オ	租税公課(消費税相当額)	8,607,000	
	施設修繕費 カ		1,000,000	市の負担です。 変更しないでください。
	支出合計(B) (ア~カ合計)		190,166,629	
	収支(A)-(B)		712,436	

※ 1年間(12ヶ月)の収支を年度ごとに記入してください。

長崎ロープウェイの管理に関する業務の収支予算書

収入の部 令和4年度 (単位:円)

	内訳	金額 (税込み)	備考
利用料金収入(A)	ロープウェイ利用料金収入	193,413,717	

支出の部

	内訳	金額 (税込み)	備考	
項目	人件費 ア	給与手当 臨時雇賃金(アルバイト賃金) 法定福利費 福利厚生費 退職給付引当費	57,402,000 17,244,000 9,458,000 568,000 3,122,000	
	事務費 イ	通信運搬費 保険料 賃借料 諸謝金 負担金 観光券手数料 支払納付金	774,000 165,000 3,813,000 281,000 106,000 3,280,000 66,143,222	固定納付金58,600千円を含む・変動納付金
	事業費 ウ	旅費交通費 消耗品費 消耗工具備品費 印刷製本費 広告渉外費 雑費	468,000 2,225,000 1,696,000 1,596,000 1,140,000 895,000	
	管理費 エ	委託料 光熱水料費 燃料費	7,922,000 4,409,000 433,000	
	その他 オ	租税公課(消費税相当額)	8,780,000	
	施設修繕費 カ		1,000,000	市の負担です。 変更しないでください。
	支出合計(B)(ア~カ合計)		192,920,222	
	収支(A)-(B)		493,495	

※ 1年間(12ヶ月)の収支を年度ごとに記入してください。

長崎ロープウェイの管理に関する業務の収支予算書

収入の部 令和5年度 (単位:円)

	内訳	金額 (税込み)	備考
利用料金収入(A)	ロープウェイ利用料金収入	196,619,481	

支出の部

	内訳	金額 (税込み)	備考	
項目	人件費 ア	給与手当 臨時雇賃金(アルバイト賃金) 法定福利費 福利厚生費 退職給付引当費	58,551,000 17,589,000 9,648,000 580,000 3,185,000	
	事務費 イ	通信運搬費 保険料 賃借料 諸謝金 負担金 観光券手数料 支払納付金	774,000 165,000 3,813,000 281,000 106,000 3,280,000 67,585,816	固定納付金58,600千円を含む・変動納付金
	事業費 ウ	旅費交通費 消耗品費 消耗工具備品費 印刷製本費 広告渉外費 雑費	473,000 2,248,000 1,713,000 1,612,000 1,152,000 904,000	
	管理費 エ	委託料 光熱水料費 燃料費	8,007,000 4,454,000 438,000	
	その他 オ	租税公課(消費税相当額)	8,956,000	
	施設修繕費 カ		1,000,000	市の負担です。 変更しないでください。
	支出合計(B) (ア~カ合計)		196,514,816	
	収支(A)-(B)		104,665	

※ 1年間(12ヶ月)の収支を年度ごとに記入してください。

長崎ロープウェイの管理に関する業務の収支予算書

収入の部 令和6年度 (単位:円)

	内訳	金額 (税込み)	備考
利用料金収入(A)	ロープウェイ利用料収入	200,411,923	

支出の部

	内訳	金額 (税込み)	備考	
項目	人件費 ア	給与手当 臨時雇賃金(アルバイト賃金) 法定福利費 福利厚生費 退職給付引当費	59,723,000 17,941,000 9,841,000 592,000 3,249,000	
	事務費 イ	通信運搬費 保険料 賃借料 諸謝金 負担金 観光券手数料 支払納付金	774,000 165,000 3,813,000 281,000 106,000 3,280,000 69,292,415	固定納付金58,600千円を含む・変動納付金
	事業費 ウ	旅費交通費 消耗品費 消耗工具備品費 印刷製本費 広告渉外費 雑費	478,000 2,271,000 1,731,000 1,629,000 1,164,000 914,000	
	管理費 エ	委託料 光熱水料費 燃料費	8,073,000 4,499,000 443,000	
	その他 オ	租税公課(消費税相当額)	9,135,000	
	施設修繕費 カ		1,000,000	市の負担です。 変更しないでください。
	支出合計(B) (ア~カ合計)		200,394,415	
	収支(A)-(B)		17,508	

※ 1年間(12ヶ月)の収支を年度ごとに記入してください。

(様式 12)

稲佐山公園・長崎ロープウェイ 利用者数の見込み

	稲佐山公園	野外ステー ジ	野外ステー ジ(リハー サル室)	展望台(車 両利用)	スロープ カー	ロープウェ イ	合計
平成27年度	88,868	40,000	400	292,661		60,762	482,691
平成28年度	64,079	14,920	1,595	261,374		195,218	537,186
平成29年度	75,803	18,770	1,585	256,732		201,584	554,474
平成30年度	82,801	19,280	2,197	253,526		195,329	553,133
平成31年度	77,888	23,243	2,199	266,073	29,500	197,377	596,280
令和2年度	99,446	27,419	2,594	172,751	177,000	190,625	669,835
令和3年度	99,943	28,242	2,672	173,615	163,725	192,396	660,593
令和4年度	100,443	32,089	3,036	174,483	150,450	194,863	655,364
令和5年度	100,945	33,052	3,127	175,356	150,450	198,094	661,023
令和6年度	101,450	37,043	3,505	176,232	150,450	202,093	670,773

※平成27年度から30年度までの実績を参考に、令和2年度から令和6年度の見込みを区分別に作成してください。

※スロープカーは令和2年2月から供用開始です。

※ロープウェイの平成27年度は、耐震化工事による施設改修のため約9か月間運休期間がありました。